



ベンチグラインダー
品番 **520-100J**

取扱説明書

Original Instruction Manual

BENCH CHAIN GRINDER
MODEL 520-100J



⚠ 警告: この取扱説明書の安全に関する注意と指示のすべてをよく読んで理解してください。
警告や指示に従わない場合、感電、火事、重傷などの危険があります。
本書は、いつでも参照できるように大切に保存してください。

ENGLISH 38

⚠ WARNING: READ AND UNDERSTAND ALL SAFETY WARNINGS AND ALL INSTRUCTIONS. FAILURE TO FOLLOW THE WARNINGS AND INSTRUCTIONS MAY RESULT IN ELECTRIC SHOCK, FIRE AND/OR SERIOUS INJURY. SAVE ALL WARNINGS AND INSTRUCTIONS FOR FUTURE REFERENCE.

目次

目次.....	4
安全に関する情報.....	6
安全規則と注意事項.....	6
グラインダーのセットアップ.....	8
電気接続.....	8
アース(接地)に関する注意事項.....	8
一般情報.....	9
取扱説明書の使用と保管.....	9
安全装置.....	9
使用の意図.....	9
技術データ.....	9
部品説明.....	11
研磨角度チャート.....	12
テンプレートによる測定.....	12
ベースユニットの取付け—ベンチ.....	13
ベースユニットの取付け—壁.....	13
組立.....	14
砥石の選択と取付け.....	14
バイスアセンブリを位置決めして、砥石の中心出しを行います.....	17
目立て角度の調整.....	19
ダウンアングルを必要としない(0°)右カッター.....	20
ダウンアングルが必要な右カッター.....	21
ダウンアングルを必要としない左カッター.....	23
ダウンアングルが必要な左カッター.....	24
バイスへチェーンをセット.....	26
操作に関する注意事項.....	28
チェーンの目立て.....	28
デプスゲージのセットのための砥石の整形.....	30
デプスゲージの設定.....	32
停止とシャットダウン.....	33
停止.....	33
シャットダウン.....	33
メンテナンスと清掃.....	33
破壊と処分.....	33
保証と修理.....	34
OREGON®のお客様の満足が第一のポリシー.....	34
限定的保証.....	34
トラブルシューティング.....	35
パーツリスト.....	36

名称と用語

熟練技術者: 通常は、サービスセンターが雇用し、マシンの特別なメンテナンス作業や修理を行うため訓練を受けた人材。

記号とラベル

これらの記号とラベルは、ツールおよび/またはこのマニュアルに記載されています。

研削盤記号

シンボル	名称	説明
	安全に関する警告 シンボル	危険、警告、注意の説明が添えられたシンボルマーク
	取扱説明書をよく読んで理解してください	取扱説明書には、重要な安全と操作に関する情報が含まれています。指示をよく理解して、従ってください。
	保護眼鏡着用	保護眼鏡を着用してください。
	保護手袋着用	ソーチェーンを取り扱う場合、手袋を着用してください。

シンボル	名称	説明
	廃棄禁止	家庭用ゴミと一緒に捨ててはいけません。認可リサイクル業者に廃棄を依頼してください。
	損傷ケーブル	電源ケーブルは定期的な損傷がないか点検してください。ケーブルが損傷していたり、切れている場合、即座に電源プラグをソケットから抜いてください。
	メンテナンスの前に電源プラグを抜き取ってください	メンテナンスの前には、電源プラグをソケットから抜いてください。

ホイール記号

記号	説明
	製造元
	この記号は、ユーザーが電動工具の使用時、保護手袋の着用が必要であることを示します。
	フェイスマスクの着用が必要です
	この記号は、ユーザーが電動工具の使用時、保護ゴーグルの着用が必要であることを示します。
	防音保護具の着用が必要です。
	電動工具の使用前に、説明書をお読みください。
	研削ディスクは、ハンドヘルド電動工具との併用を禁止します。
	湿式研削の場合は研削ディスクの使用を禁止します。

記号	説明
	研削ホイールは、破損したときは使用しないでください。
EN 12413	欧州規則
A60J7V	材料: A60J7V
	砥粒の種類: A 鋼玉
	砥粒の大きさ: 60 中
	硬度: J 軟
	構造: 7 中
	結合の種類: V ビトリファイド(鋼玉用)
最大 35m/秒	最大作動速度
最大 4500 rpm	最大作動回転率

S.N. = シリアル番号



OREGON®

Bench Chain Grinder

520-100J

100 V 3,6/2 A
50/60 Hz
150/100 W
3000/3500 min⁻¹

Ø145 mm max 26,5 m/s

SHINGU SHOKO LTD

tecomec
42124 - Reggio Emilia - ITALY

S.N. MADE IN CHINA

安全に関する情報

安全のため、グラインダーの使用前にこの取扱説明書をよく読んでください。

この取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保存しておいてください。

グラインダーを正しく使用し、事故を防ぐために、作業に入る前に必ずこの説明書を注意深く読んでください。本書には、各コンポーネント(構成部品)の機能の説明と必要な点検と保守作業の実行についての注意事項が載っています。

安全規則と注意事項

⚠ 警告 メーカー推奨品以外の付属品や部品を使用すると、作業者や周囲の人が負傷するおそれがあります。本書に記述のない整備や修理は行わないでください。そのような整備や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 注意 適切な目立てがされていないチェーンは、キックバックの原因になることがありますので、必ず以下の指示に従ってください。

⚠ 警告 ヒビの入った、あるいは損傷した砥石は即座に交換してください。損傷した砥石を使用すると、作業者や周囲の人に重傷を負わせる危険があります。

使用者

グラインダーは、大人によってのみ使用されなければなりません。使用者は、心身ともに健康で、取扱説明書を熟知していることが必要です。

周囲の人や子供を近づけないでください。

周囲の人を作業領域から安全な距離に離してください。

適切な服装をしてください。

だぶだぶした服装は避けてください。ネクタイ、ブレスレット、指輪、宝石類などは外してください。砥石や他の駆動部分に巻き込まれて負傷事故を起こしたり、接触して物を破損することがあります。底が滑らない靴を着用してください。長髪の方は、髪を覆う装備を着用してください。

ゴーグルや手袋を必ず着用してください。

グラインダーを操作するときや、ドレッサーで砥石の形を整えるときには、必ず手袋をはめ、ゴーグルを着用してください。また、塵埃の出る作業では、顔マスクや埃マスクを着用してください。日常お使いになる眼鏡のレンズには衝撃耐性しかないのです、これらの眼鏡をゴーグルの代用として使用しないでください。

手で砥石の回転を止めてはいけません。

回転している砥石を決して手で止めようとしないでください。

手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

砥石の取付けや交換、保守作業を行うとき、または場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず砥石のガードを指定位置に装着し、作業順序を守ってください。

砥石のガードを指定位置に装着しないままグラインダーを始動させないでください。

調節レンチを取り外してください。

グラインダーのスイッチをオンにする前に、必ず調節レンチをグラインダーから取り外してください。

グラインダーに示されている設計仕様に従って使用してください。

設計仕様に従うことで効率的で安全な作業ができます。グラインダーには、以下の事項を記載したプレートが取り付けられています。

-軸径(砥石を取付ける穴)のサイズ:22mm

-無負荷の状態での回転速度:3000回転/分/3500回転/分 per minute: RPM 3400

-作業前には必ず取扱説明書をお読みください。

-常に目と顔の保護用具を装着してください。

-常に正しい砥石を使用してください。

また、プレートに示されている電圧と周波数が、コンセントの電源と一致しているか確認してください。

思わぬときにグラインダーが始動する危険を避けてください。

プラグをコンセントに差し込む前に、必ずスイッチがオフになっていることを確認してください。

不良品や規格品以外のケーブル、プラグ、延長コードを使用しないでください。

8ページの「延長コードミニマムゲージ」表を参照してください。ケーブルが破損した場合や切れてしまった場合には、即座に電源プラグをコンセントから抜いてください。ケーブルの修理や交換に関しては、販売店に連絡してください。電源ケーブルは、ターミナルとアースがセットになってはじめて完全な一式となります。装置内の電気系統は、電源ケーブルの端子がスイッチ内に直接差し込まれて接続される仕様となっています。電源との接続は、その近くを通る人や通過車両によってプラグやケーブルが損傷を受けないように措置を講じなければなりません。作業者はもとより、周辺の人・車にとっての危険も防止するためです。

作業領域を整理してください。

作業場やベンチ(作業台)が散らかっていると事故を誘発します。グラインダーを始動する前に、作業領域に工具や他の部品がないことを確認してください。研磨によってたまる塵埃や削りカスを頻りに拭き取ってください。

危険な環境ではグラインダーを使用しないでください。

グラインダーを濡った場所や濡れた場所で使用したり、雨にさらしてはいけません。作業領域には十分な照明を確保してください。

作業の間、電源ケーブルの位置を確認してください。

ケーブルは常に、砥石と接触しない距離を保つとともに、ケーブルを引っ張らないように注意してください。また、他の電源ケーブルの近くで本機を絶対に使用しないでください。

砥石の回転方向を確認してください。

砥石の回転方向は一定です。砥石が完全に作業領域から出るまで、左手でチェーンを進めないでください。

作業場に子供を近づけないでください。

南京錠やマスタースイッチを使ってください。グラインダーを使用している時は、作業者以外の者が、作業現場に近寄ったり、電源ケーブルに触れたりしないように注意してください。

握り(ハンドグリップ)部分は常に清潔で乾いた状態に保ってください。

砥石をしっかりと固定してください。グラインダーの始動前に、砥石がしっかりと固定されていることを確認してください。砥石のナットは強く締めすぎないように注意してください。

固定作業

本機が、安定して、しっかりと固定されていることを確認してください。チェーンはバイス(万力)で固定してください。このように固定することで両手が自由になり、砥石を下げて、チェーンを目立てすることができます。

使用者は適切な体勢での作業を保ってください。

不安定な土台の上で作業をしないでください。常に安定して安全な位置で作業をしてください。グラインダーが傾いたり、思いがけずグラインダーに触れたりすると、重傷を負う危険があります。

必ず保守作業の指示に従ってください。

損傷した部品がないかどうか点検してください。グラインダーを使用する前に、安全確保のために装備されている器具やその他すべての器具を点検して、良好な作動状態にあるかどうか確認してください。ガード、砥石ならびに他の部分を点検して、適切に機能し、設計通りの機能が發揮できるかどうか確認してください。回転部分、締め付け/装着部品などが作業に悪影響を及ぼすような損傷がないかどうか確認してください。ガード、砥石、その他の部品に損傷が見つかった場合、適切に修理するか、即座に交換してください。

付属品は、推奨製品のみを使用してください。

付属品については、取扱説明書を参照して、推奨製品を使用してください。不適切な付属品を使用すると、負傷する可能性があります。フランジは、

本機とセットで提供されているもの以外は使用しないでください。グラインダーを効率的に、定常的な作業条件で使用していくには、摩耗したり破損した部品は、純正部品と交換してください。

推奨されている砥石以外は、使用しないでください。

グラインダーの点検

グラインダーに関して、破損したもの、不適切に修理されたもの、部品類が正しく装着されていないもの、勝手に改造されたものは使用しないでください。安全装置については、いかなるものも、取り外したり、痛めたり、使用不能にしないでください。

装置を適切に使用してください。

グラインダーをカッターとして、またはソーチエーン以外のものに対して決して使用しないでください。装置や付属品を所定の目的以外の作業に無理矢理使用しないでください。

熟練作業者のみが使用してください。

グラインダーを貸す場合、操作に慣れ、正しい使用ができる熟練の作業者のみに貸してください。その場合、常に取扱説明書を渡して、作業開始前に理解してもらえるようにしてください。

注意深く工具の手入れをしてください。

最高の性能と安全性が發揮できるように、工具をきちんと清潔な状態に維持してください。注油や付属部品の交換に関して、指示に従ってください。

グラインダーは乾燥した場所に保管してください。

グラインダーは地面に直接置かず、子供の手の届かない場所に保管してください。

グラインダーは雨や湿気にさらさないようにしてください。

爆発や発火の可能性のある場所でグラインダーを使用しないでください。

グラインダーに不具合が見つかった場合、販売店に持ち込んでください。

グラインダーが正常に運転できなくなった場合、作業場やその他の場所に放置しないでください。販売店に持ち込んでください。販売店は保管するか、適切に廃棄してくれます。

販売店に相談してください。

不明点がある場合、また、重要な保守や修理に関して、常に販売店に相談してください。

ケーブルを引っ張ってコンセント

から抜かないでください。

ケーブルが熱くなったり、油で汚れたり、鋭利な物に触れない様に注意してください。

USE PROPER EXTENSION CORD

延長ケーブルは、良好な状態のものを使用してください。延長ケーブルを使用する場合、必ず作業に必要な電流に合った規格のケーブルを使用してください。容量が小さすぎるケーブルを使用すると、電圧が低下し、パワー

不足とオーバーヒートを引き起こします。

下記の表は、ケーブルの長さでプレートに記載されている電流に対して適切なケーブルのサイズを示しています。容量が十分かどうか疑わしい場合は、一段上のゲージ規格のケーブルを使用してください。ゲージ番号は、電流容量が大きいほど番号が小さくなるように設定されています。

520-100J グラインダーの延長ケーブルミニマムゲージ	
長さ	ゲージ, AWG
25 ft. / 7.6 m	18
50 ft. / 15.2 m	16
100 ft. / 30.5 m	16
150 ft. / 45.7 m	14

本機が稼働している場合、そのそばを離れないでください。

電源をオフにして、本機が完全に停止するまで、そばを離れないでください。

グラインダーのセットアップ

▲ 注意 グラインダーは、塵埃対策と湿気対策が施された、明るい照明で、子供の入り込まない、ガスやその他の引火性または揮発性液体から離れた場所で使用してください。グラインダーは、アース(設置)処理された通常のコンセントの近くで使用する必要があります。危険な延長ケーブルは使用しないでください。

電気接続

- 装置の電源が、プレートに記載された等級の値に適合していることを確認してください。
- 電源電圧は、プレートに記載された値から ±5% を超えてはなりません。
- 電源への接続は、装置が使用される国の規定電流基準に適合するように処置してください。
- 装置用に使用される電源ソケットは、アース処理がなされ、適切なヒューズが装備され、30mA を超えないようなトリップ感度を備えた地絡保護装置によって保護しなければなりません。

アース(接地)に関する注意事項

A. 不具合や故障の場合、アース処理によって、電流による感電の危険を低減させる最も容易な方法が提供されます。本機には、装置アースコンダクターとアースプラグを備えたケーブルが装備されています。このプラグは、すべての地域の規定や法令に従って適切に接地・アースされた対応するソケットに接続されます。提供されたプラグを改造しないでください。もし、プラグに対応する適切なソケットがない場合、有資格の電気技師に適切なソケットを設置してもらってください。

装置アースコンダクターの接続が不適切な場合、感電する危険性があります。外面に緑色または緑色と黄色のストライプの絶縁がほどこされたコンダクターは、装置アースコンダクターです。ケーブルやプラグの交換が必要な場合、装置アースコンダクターを通電しているターミナルに接続しないでください。

接地指示が完全に理解できない場合、または、装置が適切に接地されているかどうかの判断がつかない場合、有資格の電気技師や修理担当者と一緒に点検してください。

3極アースプラグとグラインダーのプラグを差し込む3極ソケットを装備した3ピンの延長ケーブルしか使用してはいけません。ケーブルが損傷している、または摩耗している場合、即座に修理か交換してください。

一般情報

以下の場合、製造者は責任を負いません。

- 本書に記述されている指示に従わなかった場合。
- 「意図された使用」の項目で説明されている以外の機械の使用
- 作業場で健康と安全に関する最新の基準に従って使用しなかった場合。
- 間違った設置
- 計画整備の欠如
- 製造者によって許可されていない改造や作業をした場合
- 純正品でない、または適当でないスペアパーツを使用した場合
- 専門家が修理をしていない場合

取扱説明書の使用と保管

本書の内容と情報は、折々に変更される可能性があります。製造者には、いつでも必要と思われるときにグラインダーに改造を加える権利があります。製造者に代わって、許可なくこの文書のどの部分も複製することは禁じられています。

取扱説明書は、欠くことのできない機械の一部であり、必要な時にいつでも取り出して調べることができるように、安全な場所に保管しておかなければなりません。もし、取扱説明書をなくしたり、劣化してしまったり、販売店にコピーを頼むことができます。この取扱説明書は、常に機械と一緒に保管してください。

安全装置

グラインダーには、10 ページに示されている安全装置が装備されています。

- シールドガード(G)：これらは、研磨中の研磨くずから作業者を守ります。これらのガードは、機械を操作するときには常に所定の位置にきちんと取付けなければなりません。ガードが効率的で適切に取付けられていることを確認してください。ガードが破損、またはくだけると、安全な作業ができません。
- スイッチ：この機械はコイルを解除する安全スイッチが特徴です。突然の停電の場合、スイッチは、自動的に機械の電源を切ります。この場合、たとえ電力供給が突然元にもどっても、機械は始動しません。機械を再び始動させるには、作業者がスイッチをオンに入れ直す必要があります。

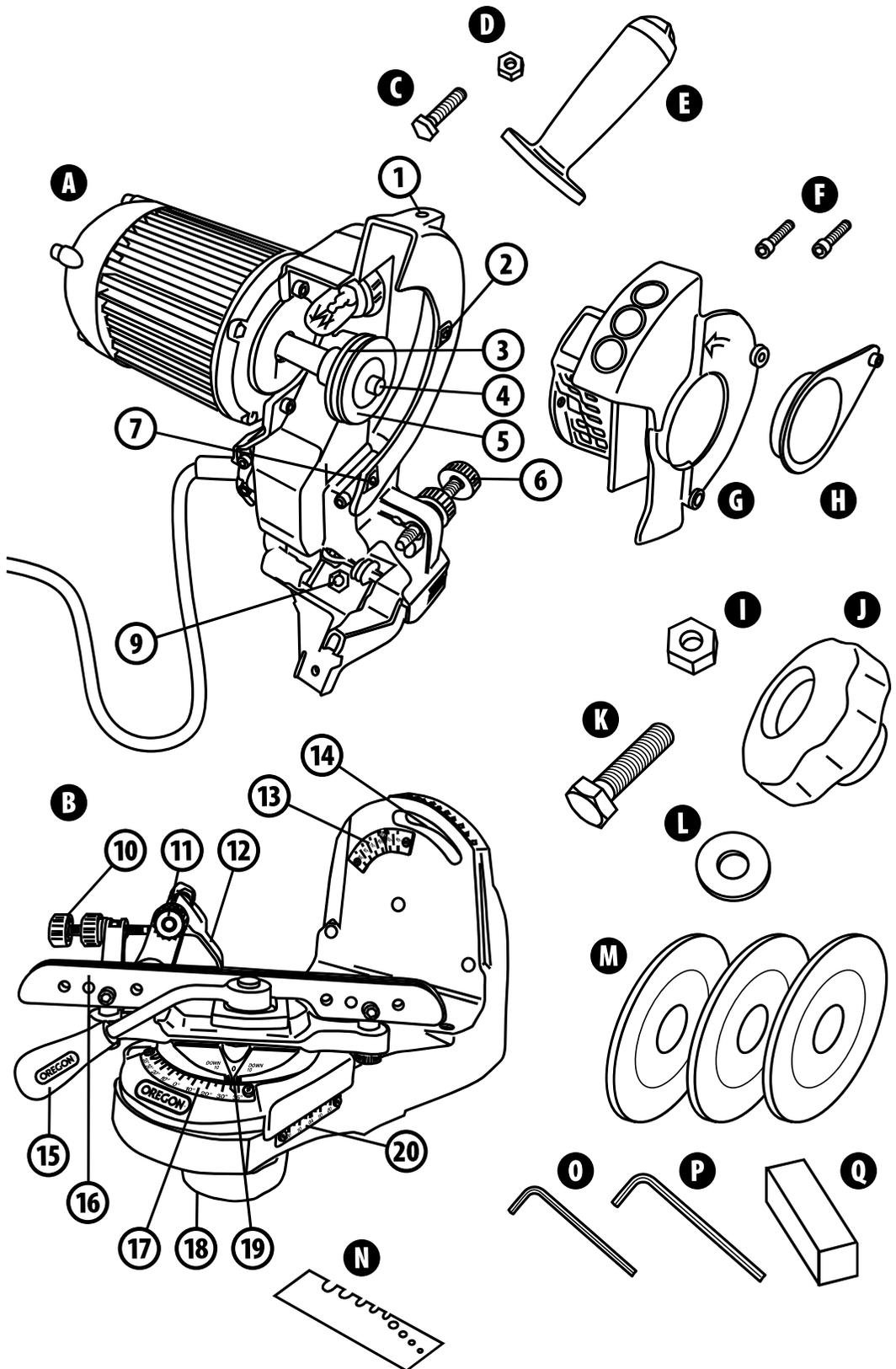
使用の意図

この機械は、チェンソーのソーチェーンを研磨するために使用する電動目立て装置です。

- この機械は、下記技術データ内に記述されている種類のチェーン専用で使用してください。
- 所定のチェーン以外のものを切削・研磨するのに使用しないでください。
- 作業台や壁にしっかりと機械を固定させてください。
- 機械は腐食性、または爆発性の場所では使用しないでください。
- 上記以外の使用は不適切です。製造者は、機械の不適切な使用、または間違った使用における損傷に対しては責任を負いません。

技術データ

モデル名	520-100J	
電源	100V~ 50Hz (3,6 A)	100V~ 60Hz (2,0 A)
定格電力	150 W	100 W
砥石寸法	外径 Ø 145 mm (5-3/4")	
	内径 Ø 22,2 mm (7/8")	
	厚さ 3.2 - 4.7 - 6.0 mm (1/8"-3/16"-1/4")	
最高切削測度	3000 回転/分	3500 回転/分
ランプの最高電力	15W	
音量	77 dB(A)	
操作ハンドルの振動レベル	< 2,5 m/s ²	
切削が可能なチェーンの種類	1/4" .325" 3/8" .404"	
重量 (部品装着後)	18.5 lbs. / 8.4 kg	

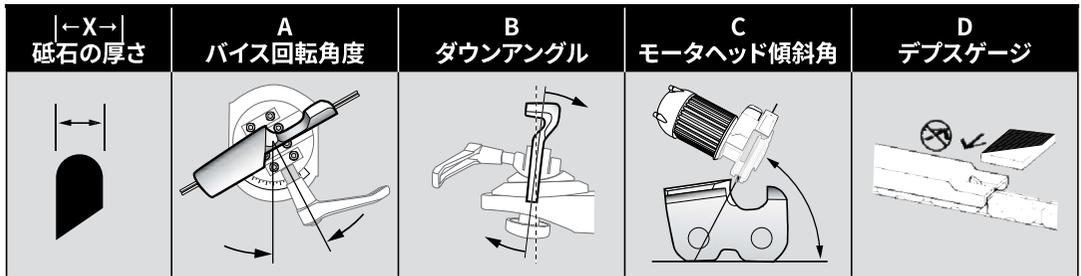


部品説明

グラインダーは部分的に組立てた状態で提供されます。

- A. 上部ハウジング/ モーターユニット
 - B. ベースユニット
 - C. 操作ハンドル固定ボルト
 - D. 操作ハンドル固定ナット
 - E. 操作ハンドル
 - F. ガード固定ネジ
 - G. シールドガード
 - H. 安全シールド
 - I. 上部ハウジングロックナット (壁固定用)
 - J. 上部ハウジングロックリングノブ (ベンチ固定用)
 - K. 上部ハウジング固定ボルト
 - L. 部ハウジングワッシャ
 - M. 砥石
 - 5 3/4" x 1/8" x 7/8" (145 x 3.2 x 22.2 mm)
 - 5 3/4" x 3/16" x 7/8" (145 x 4.7 x 22.2 mm)
 - 5 3/4" x 1/4" x 7/8" (145 x 6 x 22.2 mm)
 - N. テンプレート
 - O. 4 mm 六角レンチ
 - P. 5 mm 六角レンチ
 - Q. 整形用ブロック
-
- 1. 操作ハンドル取付け穴
 - 2. 安全シールド取付け穴
 - 3. 砥石ハブ
 - 4. 砥石フランジ用ネジ
 - 5. 砥石フランジ
 - 6. 高さ調整ノブ
 - 7. シールドガード取付け穴
 - 9. アームモーター取付け穴
 - 10. カッター調整ノブ
 - 11. チェーンストッパ調整ノブ
 - 12. チェーンストッパ
 - 13. モーターヘッド傾斜角ガイドプレート
 - 14. 上部ハウジング/モーターユニット取付けスロット
 - 15. バイスハンドル
 - 16. バイスジョー
 - 17. バイス回転角度ガイドプレート
 - 18. バイス調整ノブ
 - 19. バイス基準マークポインタ
 - 20. 砥石摩耗量参照マーク

研磨角度チャート



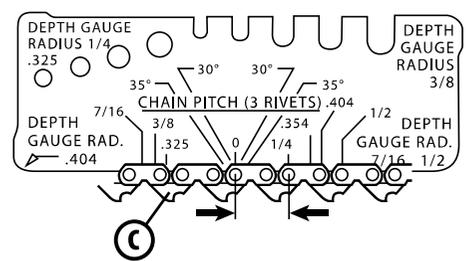
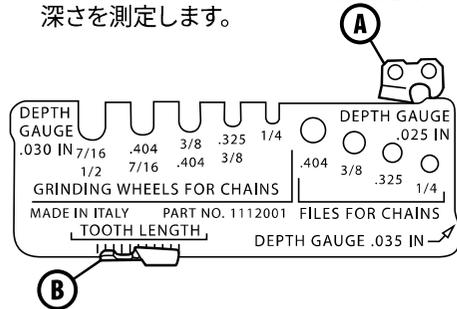
	X	A	B	C	D	
マイクロ チゼル®	20-21-22BPX 20-21-22P	3/16"	30°	10°	55°	.025" .65 mm
	25AP, 25A, 25F	1/8"	30°	0°	55°	.025" .65 mm
	27A, 27AX	3/16"	30°	10°	55°	.030" .75 mm
	80TXL	1/8"	25°	10°	70°	.025" .65 mm
	95VPX	3/16"	30°	10°	55°	.025" .65 mm
チゼル	20-21-22LPX M20-21-22LPX	3/16"	25°	10°	55°	.025" .65 mm
	58, 59L, J	3/16"	25°	10°	55°	.025" .65 mm
	68JX, LX	3/16"	25°	10°	55°	.030" .75 mm
	72-73-75JGX, JPX, LGX, LPX, M72-73-75LPX	3/16"	25°	10°	55°	.025" .65 mm
	72-73-75V	3/16"	25°	10°	55°	.025" .65 mm
セミチ ゼル	24AP	1/8"	30°	0°	55°	.020" .50 mm
	72APX/72- 73-75DPX	3/16"	35°	10°	55°	.025" .65 mm
	91PXL, 91VXL, M91VLX	1/8"	30°	0°	55°	.025" .65 mm
縦挽き チェーン	27R, RA	3/16"	10°	10°	50°	.030" .75 mm
	72-73-75RD	3/16"	10°	10°	50°	.025" .65 mm
シャンファ ーチゼル	90PX, 90S, 90SG	1/8"	30°	0°	55°	.025" .65 mm
	91P, 91PX, 91VG, 91VX, M91VX	1/8"	30°	0°	55°	.025" .65 mm

テンプレートによる測定

A 適切な形状部分を使用してゲージの深さを測定します。

B カッター長さを測定します。

C チェーンのピッチを測定します。



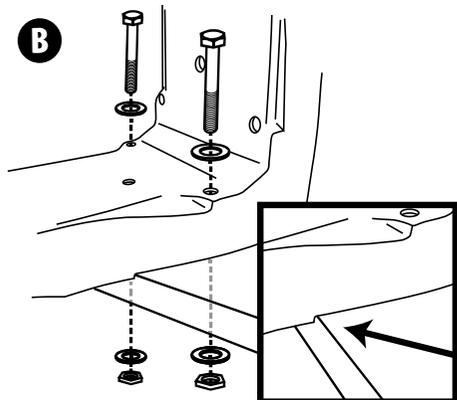
使用前の準備

▲ 注記 目の高さに装置を設置しないでください。床から1.2から1.3メートル以下の高さが薦められます。装置には、作業ベンチに固定するものと、壁に固定するものがあります。

ベースユニットの取付け—ベンチ

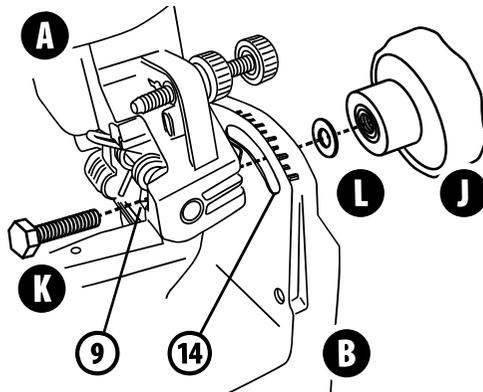
ベンチへの取付け

キットに付属している2本のボルト、および、ワッシャ、ナットのセットを固定穴に差し込んで機械を固定します。ベースユニットが詳細図のようにベンチの端からぶら下がる位置にあることを確認してください。



上部ハウジング／モーターユニットの固定

ボルト(K)をモーターユニット(A)の専用穴(9)に差し込み、ベースユニット(B)の取付けスロット(14)を通します。後部にワッシャ(L)を差し込み、ロックリング(J)を締めます。注:適切に位置決めするため上部ハウジングを上から押し下げる必要があるかもしれません。

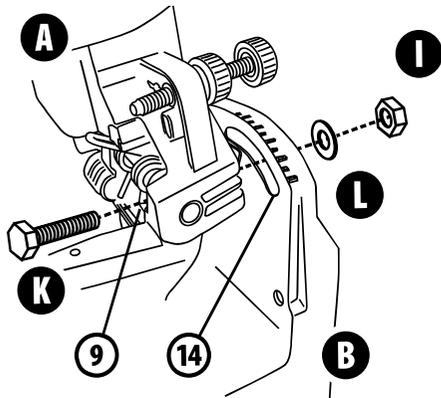


ベースユニットの取付け—壁

注:壁に取付ける前に上部ハウジング／モーターユニット(A)をベースユニット(B)に組付けてください。

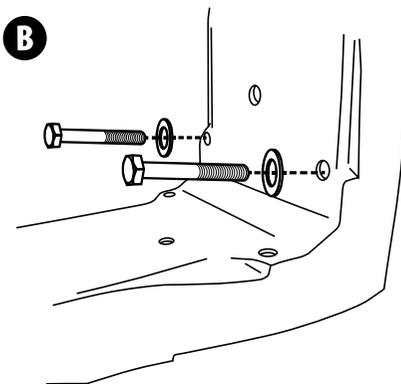
上部ハウジング／モーターユニットを固定

ボルト(K)をモーターユニット(A)の専用穴(9)に差し込み、ベースユニット(B)の取付けスロット(14)を通します。後部にワッシャ(L)を差し込み、ロックナット(I)を締めます。注:適切に位置決めするため上部ハウジングを上から押し下げる必要があるかもしれません。注:モーターユニットは、レンチ(キットに含まれず)でナットを緩めたり、締めたりして、調整する必要があるかもしれません。



壁への取付け

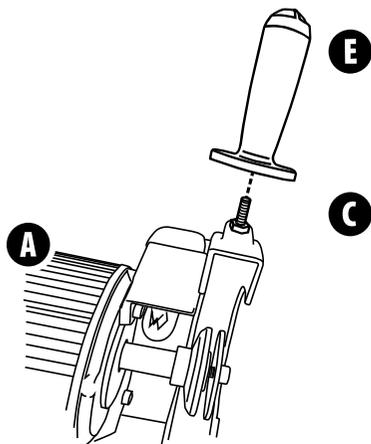
キットに付属している2本のボルト、および、ワッシャ、ナットのセットを固定穴に差し込んで機械を固定します。



組立

操作ハンドルの固定

操作ハンドル(E)を突き出たボルト(C)に完全にねじ込んでください。



砥石の選択と取付け

▲ 警告

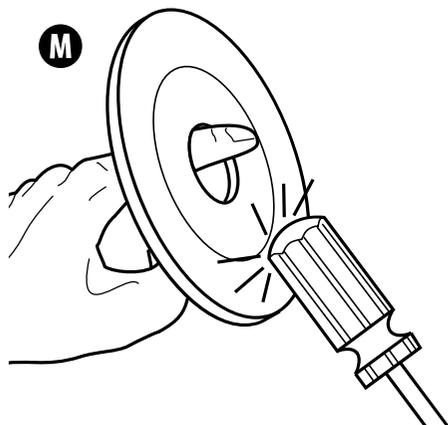
- 砥石(M)をハブ(3)に無理矢理はめ込まないでください。また、中心穴を変形させないでください。きっちりとはまらない砥石は使用しないでください。
- ハブ(3)とフランジ(5)が清潔で瑕疵のないことを確認してください。

砥石の選択

研磨するチェーンの種類に合わせて適切なサイズの砥石を選択してください(12ページの研磨角度チャートを参照してください)。

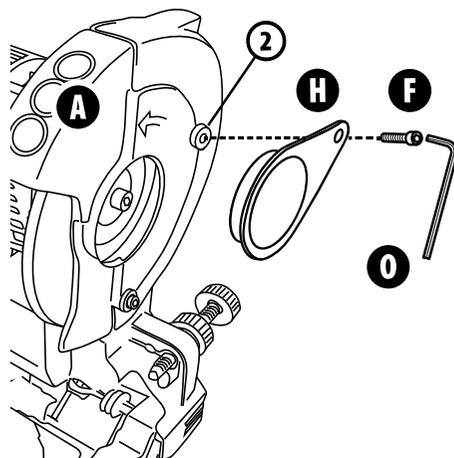
▲ 砥石の検査

中央部に開いている穴に指を入れて砥石(M)をぶら下げます。金属製の物体で砥石の片側、円周の辺りを軽く叩いてください。鈍い音がする場合、損傷している可能性があります。そのような砥石は使用しないでください。



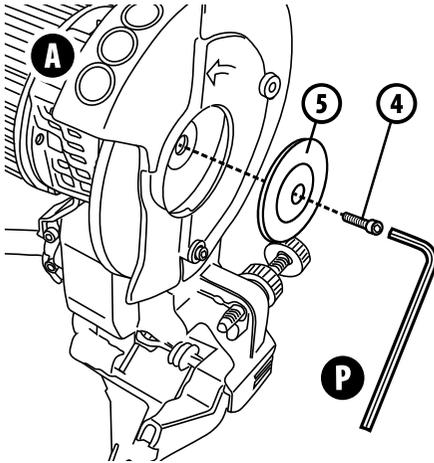
安全シールドの取外し

4mmの六角レンチ(O)を使って、穴(2)からガード固定ネジ(F)を外して、安全シールド(H)を取り外してください。

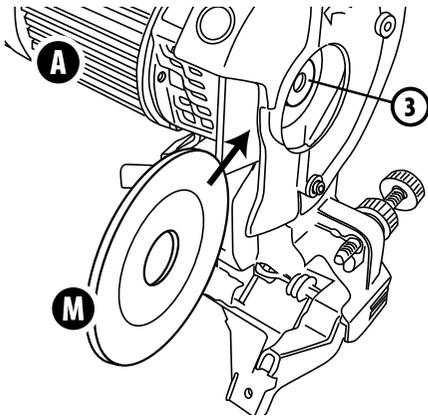


フランジの取外し

5mmの六角レンチ(P)を使って、フランジネジ(4)を外し、ハブからフランジ(5)を取り外してください。

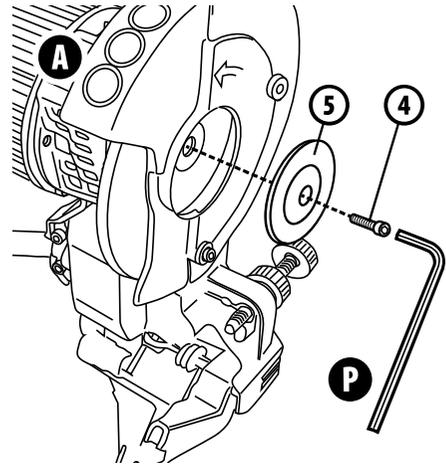
**砥石の取付け**

ハブ(3)の専用座面に砥石(M)を差し込み、完全な中心合わせをおこないます。

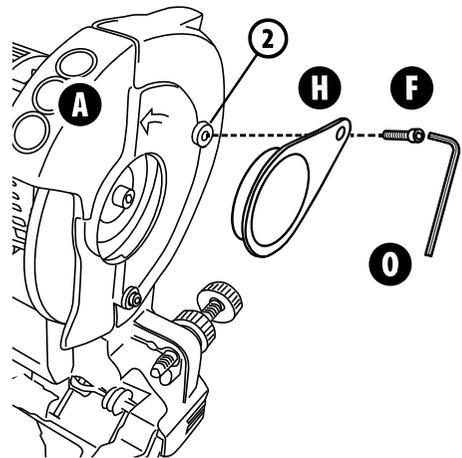
**フランジの再取付け**

フランジ(5)を差し込み、5mmの六角レンチを使ってフランジネジ(4)を締めてください。

⚠ M図のようにフランジをぴったりおさめてください。フランジを過度に締めると使用中の砥石にヒビがはいり、作業者を危険にさらす可能性があります。こういった危険を防止するため、フランジネジ(4)を7Nmのトルクで締めます。できればトルクレンチで点検してください。

**安全シールドの再取付け**

4mmの六角レンチ(O)を使って、ガード固定ネジ(F)を穴に挿入して、安全シールド(H)を再度取付けてください。



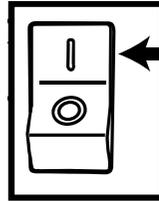
**起動**

電源ケーブルを電源装置に差し込みます。

砥石の組立の点検

スイッチの位置を「I」にして、グラインダーを始動させます。

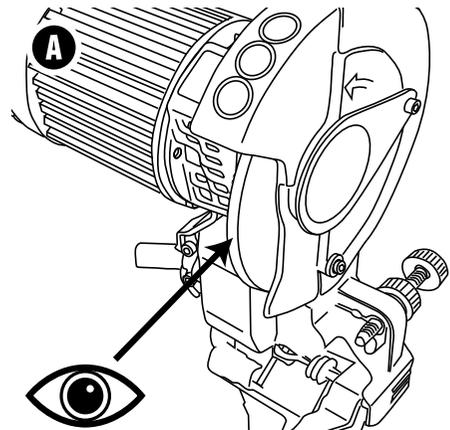
始動したら、ランプが点灯し、切削部分を照らします。



砥石が横や斜めに振動して、結果として異常な振動をもたらさないことを目視確認してください。

もし、そういった振動が起こった場合、即座に機械を停止させ、砥石が正しくしっかりはまっているかを点検してください。もし、必要であれば、別の純正品の砥石と交換してください。

⚠ 研磨を開始する前に、少なくとも1分間、取付けたばかりの砥石を作業速度で稼働させて点検してください。その場合、グラインダーの横で十分に安全な距離を取って、機械に誰も近づかないことを確認しながら行ってください。

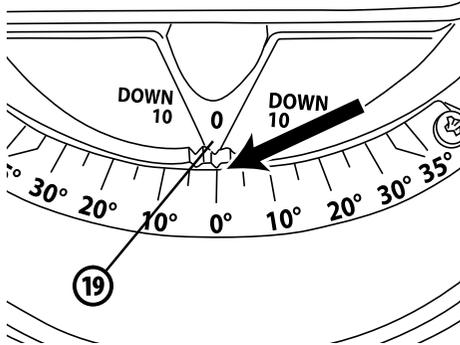


バイスアセンブリを位置決めして、砥石の中心出しを行います

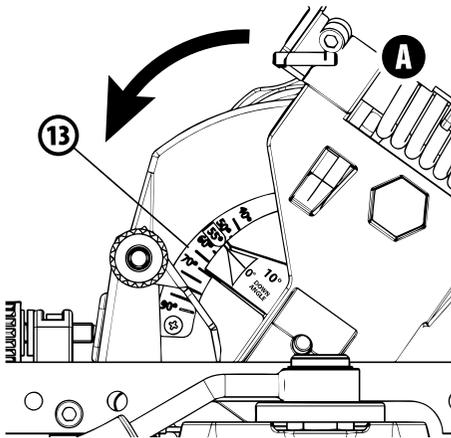
グラインダーの作動は、バイスの上方で砥石が中心に位置している場合がベストです。

注：砥石が摩耗したら、再度位置調整をする必要があります。砥石が正しく装着されているかどうかを定期的に点検し、必要であれば調整してください。

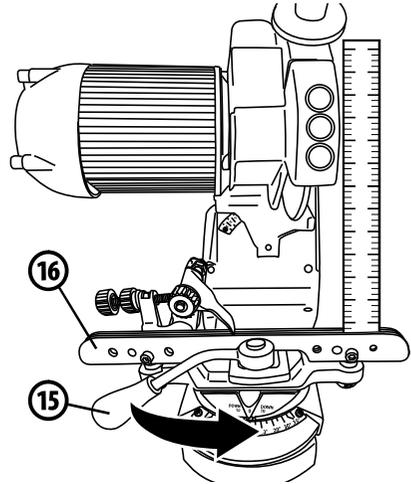
バイスを回して、「0」の基準マークを0°の位置に動かします。



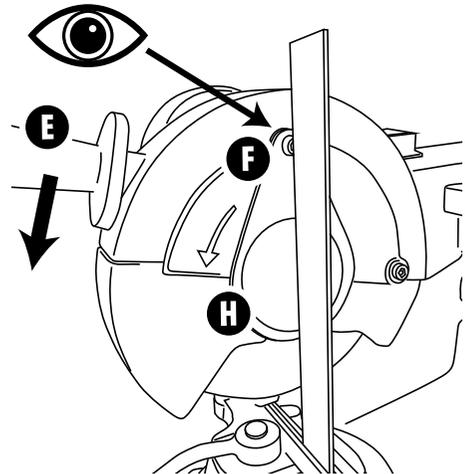
モーターユニット (A) 全体を回し、アームの端の「0」の基準マークがガイドプレート (13) の90°の位置に来るように動かします。



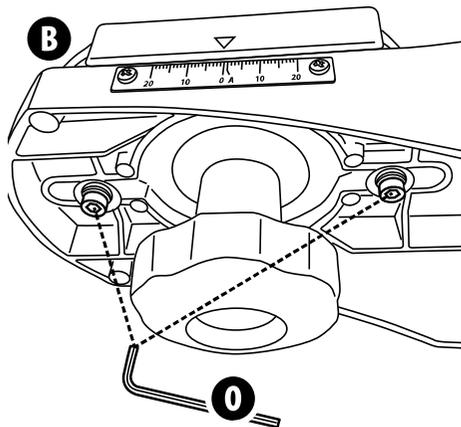
バイスジョー (16) に直線のエッジを定規のようにして、モーターユニットの右に位置させます。バイスハンドル (15) を右に引っ張って締めます。



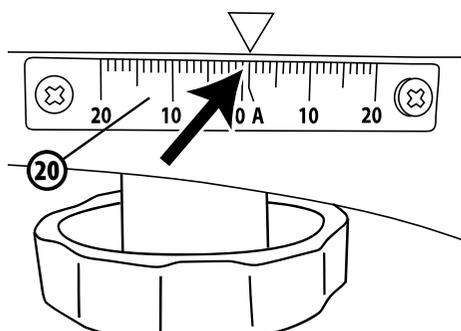
操作ハンドル (E) を使って、モーターユニットを下に引っ張り、ガード固定ネジ (F) が定規の線上に位置していることを確認します。



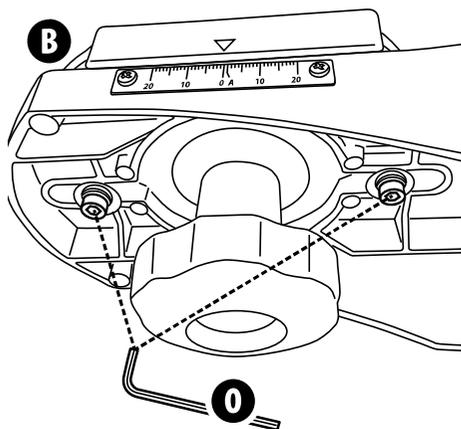
直線の端が中心合わせをしていない場合、4mmの六角レンチ(O)でベースユニット(B)の底の固定ネジを緩めてください。



バイスアセンブリを前後に動かして、砥石摩耗量参照マーク(20)を参照して、直線の端の線上にガード固定ネジ(F)が位置するように調整してください。

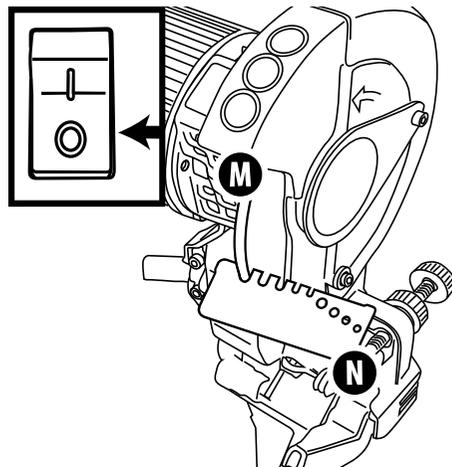


4mmの六角レンチ(O)で、ベースユニット(B)の底にある固定ネジを締めてください。



砥石の形状の点検

機械の電源をオフにして、測定テンプレートを使って砥石(M)の形状を点検します。必要であれば、適切な形状に戻すために砥石を整形してください。

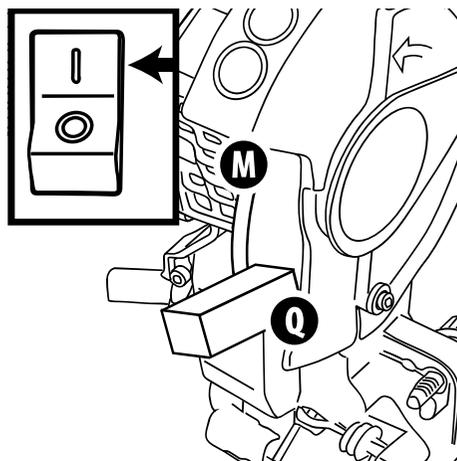


砥石の整形

作業の前に必ず保護具を身につけてください。スイッチを「I」の位置にして、グラインダーを始動します。

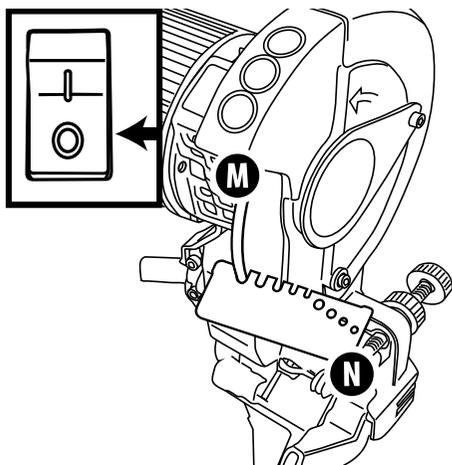
整形ブロック(Q)を使って砥石の輪廓を整えてください。十分注意しながら、整形用砥石を両手でしっかり効果的につかみ、整形していきます。

⚠ 警告 高速で回転している砥石に触れると、やけどやけがをする危険があります。



スイッチを「0」の位置にして、グラインダーを停止させます。

テンプレート(N)を使い、砥石(M)の輪郭が適切かどうか確認します。テンプレートの溝と砥石の輪郭が同じになるまで整形を続けます。



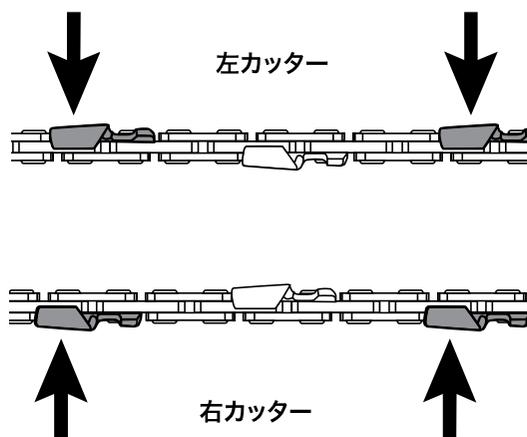
目立て角度の調整



⚠ 警告

- 目立てを行う際は保護具を身につけてください。
- 調整作業はすべてモーターの電源をオフにし、砥石が完全に停止してから行ってください。
- 目立て作業中に思いがけず砥石と他の部品との衝突があった場合、「砥石の選択と設置」の項の指示に従ってください。
- 目立ての前にチェーンの汚れを落としてください。
- モーターの超過負荷とチェーンの損傷を防ぐため、研磨する量は必要最小限にとどめてください。また、焼け付く可能性があるため、ひとつのカッターだけ集中して研磨することを避けてください。
- 研磨作業中に冷却用液体は使用しないでください。

⚠ 警告 研磨作業では火花が発生し、可燃性の物質に点火する可能性があります。可燃性の物質がある場所や爆発性のある環境でグラインダーを操作しないでください。



ダウンアングルを必要としない(0°)右カッター

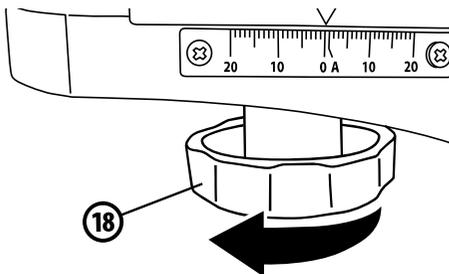
目立てをするチェーンのタイプが分かったら、12 ページの「研磨角度チャート」で調節角度。

(A バイス回転角度、B ダウンアングル、C モーターヘッド傾斜角)を確認してください。

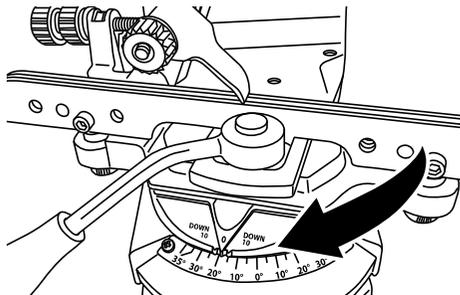
注:チェーンが「目立て角度チャート」のB 欄のダウンアングルが必要なチェーンである場合、21 ページの「ダウンアングルが必要な右カッター」の項を参照してください。

バイスの回転角度の調整

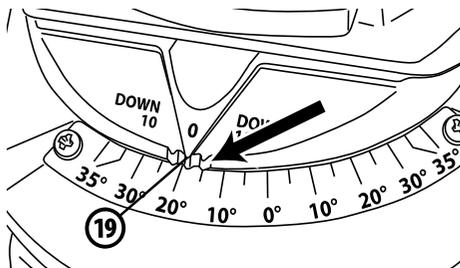
バイス調整ノブ(18)を緩めます。



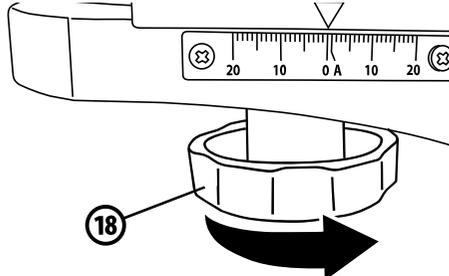
バイスを時計回りに回します。



バイス上で希望のバイス回転角度の位置とバイス基準マークポインタ(19)の「0」とを合わせます。

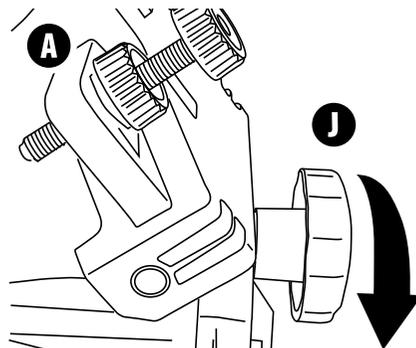


バイス調整ノブ(18)を締めます。

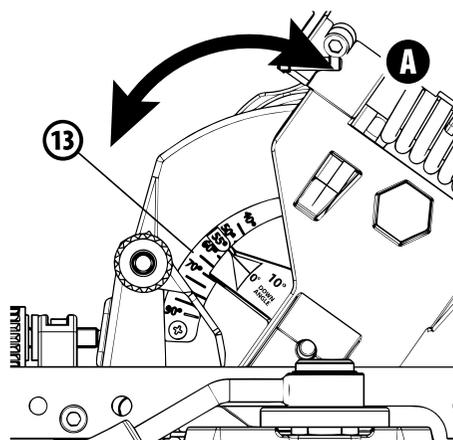


ヘッド傾斜角の調整

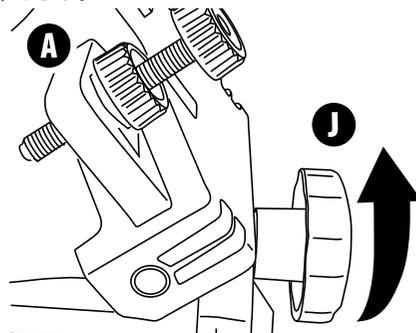
モーターユニット(A)の後側のアームロックングノブ(J)を緩めます。



モーターユニット(A)全体を回して、希望のヘッド傾斜角(13)の位置とアームの端の基準マークの「0 アングル」とを合わせます。



モーターユニット(A)の後側のロックングノブ(J)を締めます。

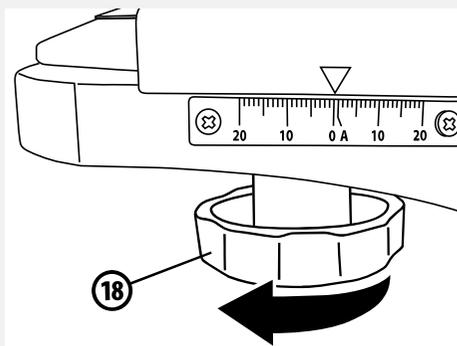


ダウンアングルが必要な右カッター

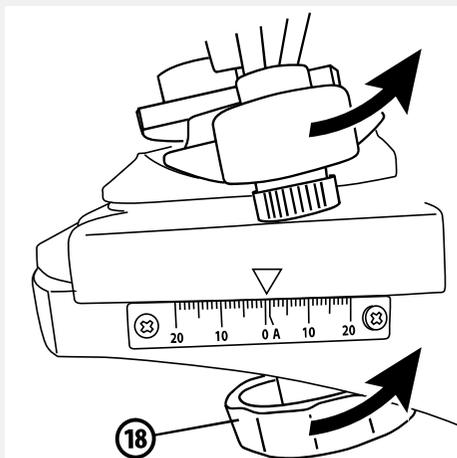
この項は、ダウンアングル設定が必要な種類のチェーンに対するグラインダーの調整方法を説明しています。この設定が必要なチェーンはどういったものかを確認するのに、12 ページの「研磨角度チャート」のB 欄を参照してください。

ダウンアングルの設定

12 ページの「研磨角度チャート」を使って適切な角度を見つけます。バイス調整ノブ(18)を緩めてください。

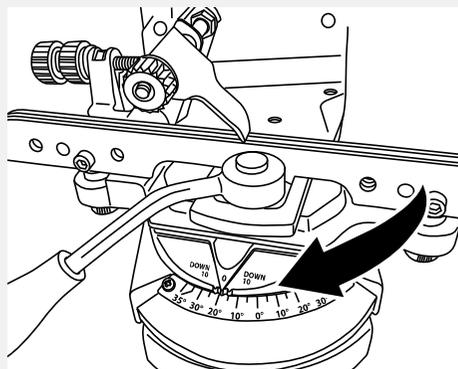


バイス調節ノブ(18)を向こう側に押し、できるだけ上に押し上げてバイスを回転させます。

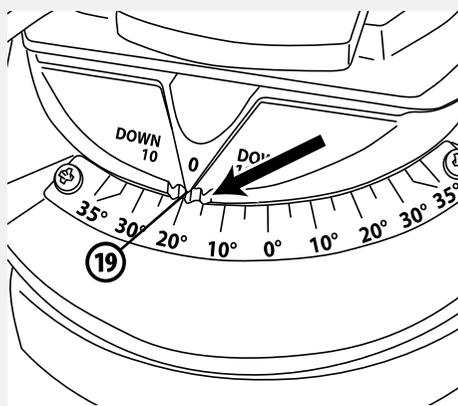


バイス回転角度の設定

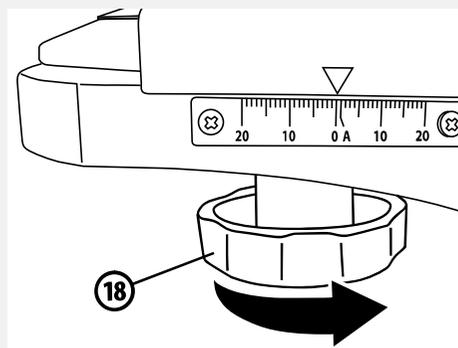
バイスを時計回りに回します。



バイス上で希望のバイス回転角度の位置に右側の三角形の「DOWN 10」基準マークポイントを合わせます。

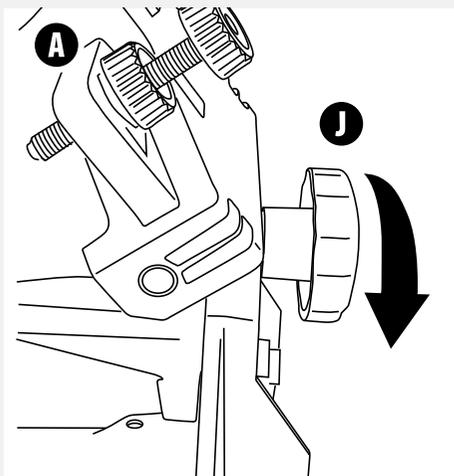


バイス調整ノブ(18)を締めてください。

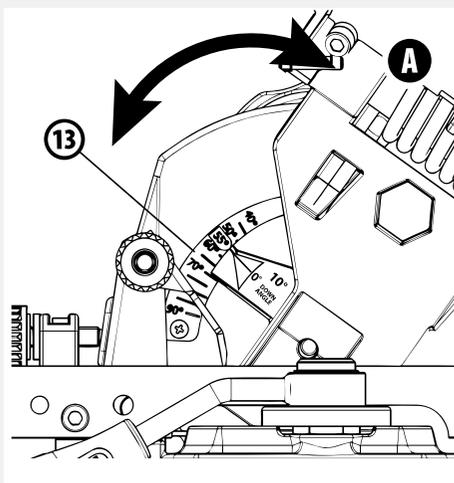


ヘッド傾斜角の設定

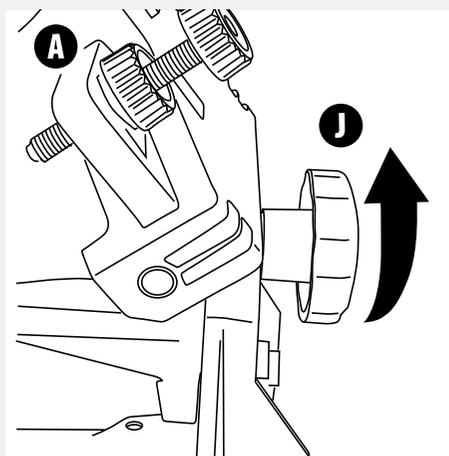
モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を緩めます。



モーターユニット(A)全体を回転させ、希望のヘッド傾斜角度(13)の位置にアームの端の「10 DOWN」基準マークを合わせます。



モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を締めます。



ダウンアングルを必要としない左カッター

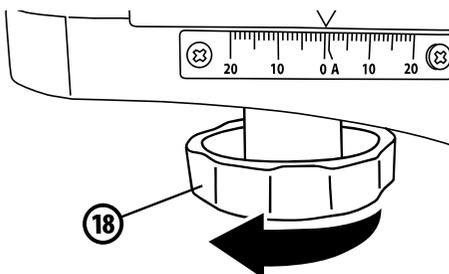
目立てをするチェーンのタイプが分かったら、12ページの「研磨角度チャート」で調節角度。

(A バイス回転角度、B ダウンアングル、C モーターヘッド傾斜角)を確認してください。

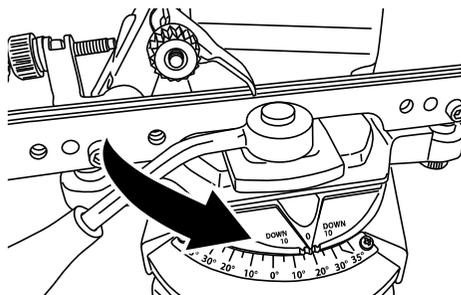
注:チェーンが「研磨角度チャート」のB欄のダウンアングルが必要なチェーンである場合、24ページの「ダウンアングルが必要な左カッター」の項を参照してください。

バイスの回転角度の調整

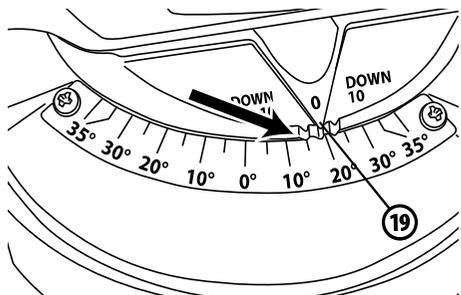
バイス調整ノブ(18)を緩めます。



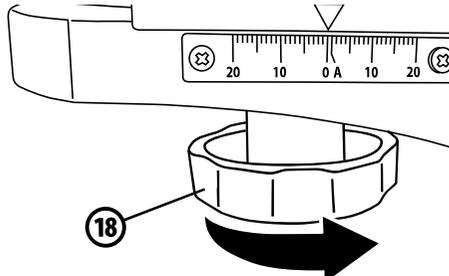
バイスを反時計回りに回します。



バイス上で希望のバイス回転角度の位置とバイス基準マークポインタ(19)の「0」とを合わせます。

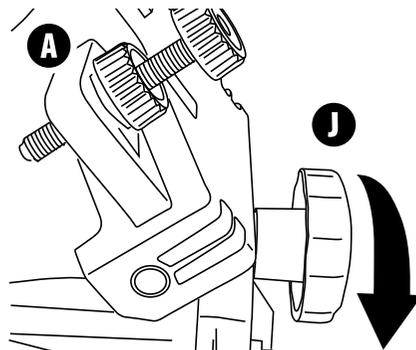


バイス調整ノブ(18)を締めます。

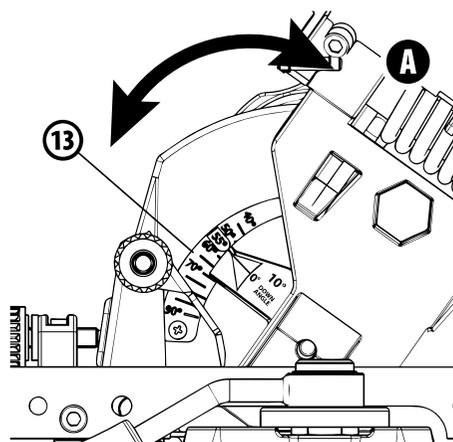


ヘッド傾斜角の調整

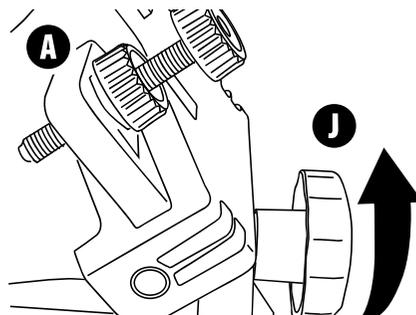
モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を緩めます。



モーターユニット(A)全体を回して、希望のヘッド傾斜角(13)の位置にアームの端の「0」基準マークを合わせます。



モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を締めます。



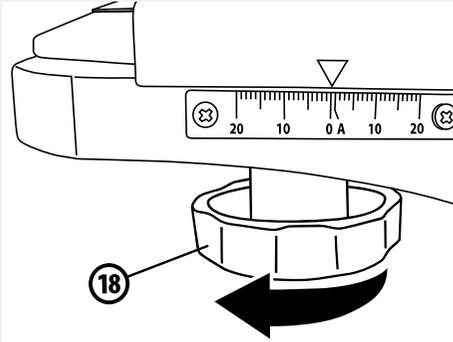
ダウンアングルが必要な左カッター

この項は、ダウンアングル設定が必要な種類のチェーンに対するグラインダーの調整方法を説明しています。この設定が必要なチェーンはこういったものかを確認するのに、12 ページの「研磨角度チャート」のB 欄を参照してください。

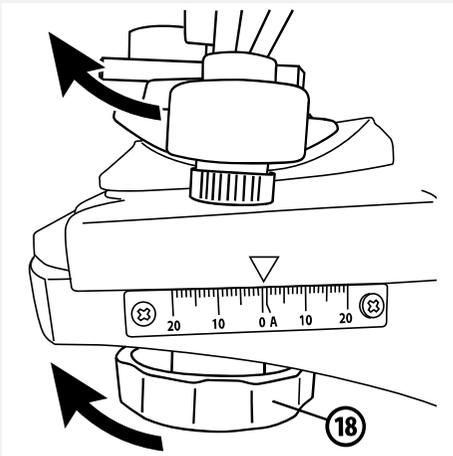
ダウンアングルの設定

12 ページの「研磨角度チャート」を使って適切な角度を見つけます。

バイス調整ノブ(18)を緩めてください。

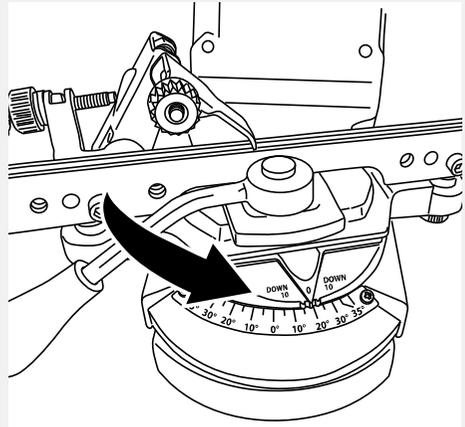


バイス調節ノブ(18)を手前側に引き、できるだけ上に押し上げてバイスを回転させます。

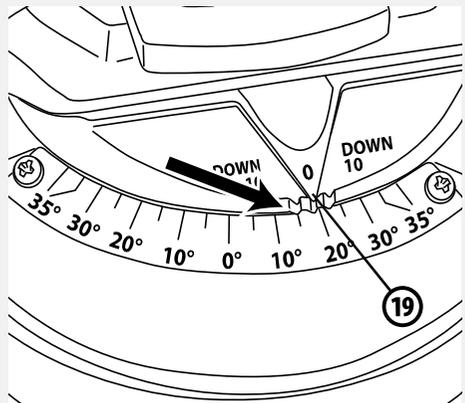


バイス回転角度の設定

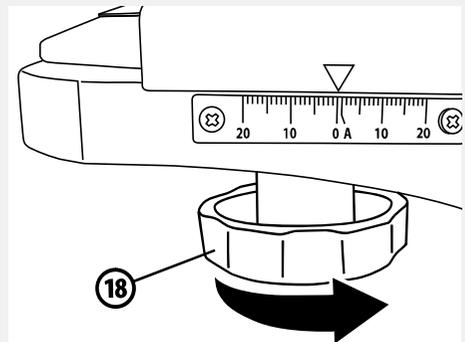
バイスを反時計回りに回します。



バイス上で希望のバイス回転角度の位置に左側の「DOWN 10」基準マークポイントを合わせます。

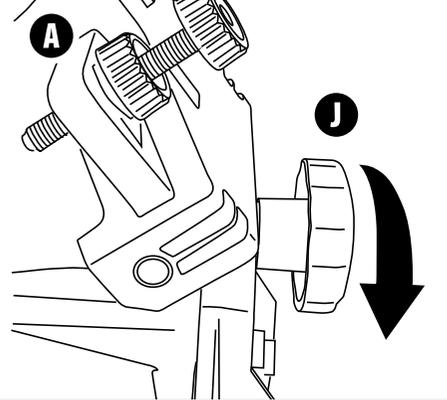


バイス調整ノブ(18)を締めてください。

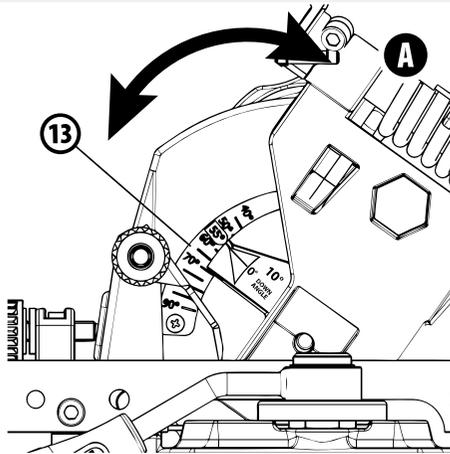


ヘッド傾斜角度の設定

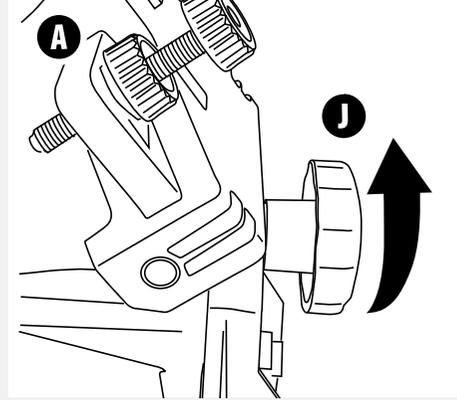
モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を緩めます。



モーターユニット(A)全体を回転させ、希望のヘッド傾斜角度(13)の位置にアームの端の「10 DOWN」基準マークを合わせます。



モーターユニット(A)の後側のロッキングノブ(J)を締めます。



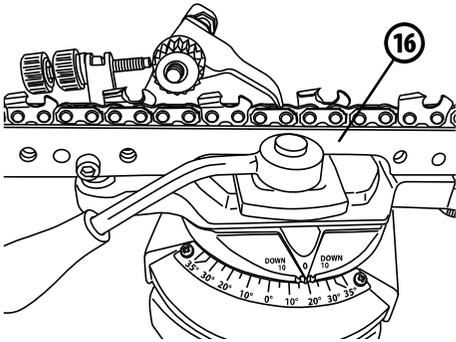
バイスヘチェーンをセット

- 目立ての前にチェーンの汚れを落としてください。
- カッターを点検し、最初に目立てを行いたい一番損傷の大きなカッターを見つけてください。
- 図のようにチェーンがバイス内にセットされていること、またカッターが右向きであることを確認してください。

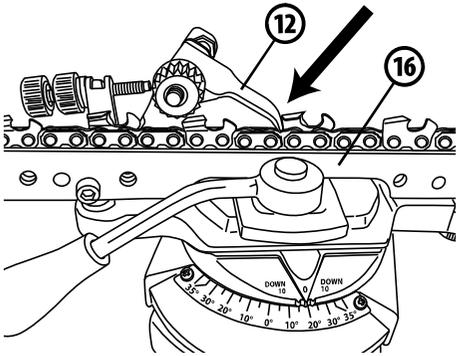


チェーンストップアのセット

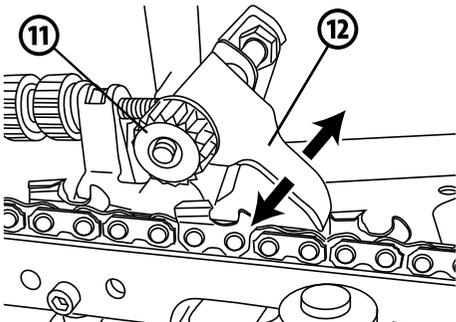
チェーンをバイスジョー (16) にセットします。



チェーンをスライドさせてカッターをチェーンストップア(12)と接触させます。

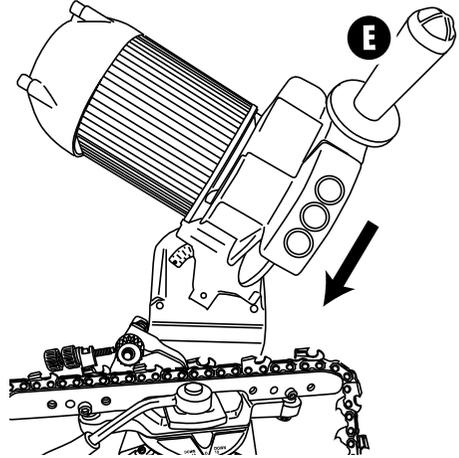


調整ノブ(11)を回して、チェーンストップア(12)の位置を調整します。

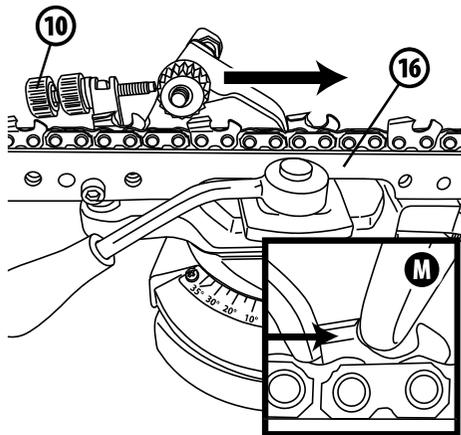


カッターの位置決め

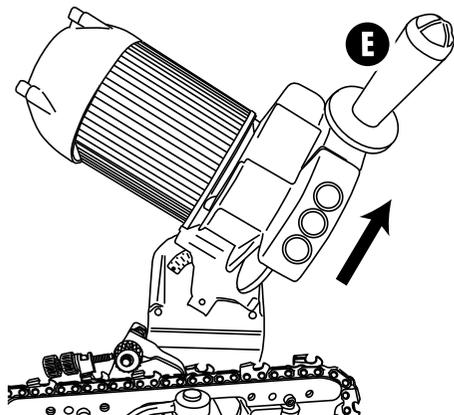
操作ハンドル(E)を使ってモーターユニット(A)を下に引っ張って、研磨対象のカッターの上で砥石を動かします。



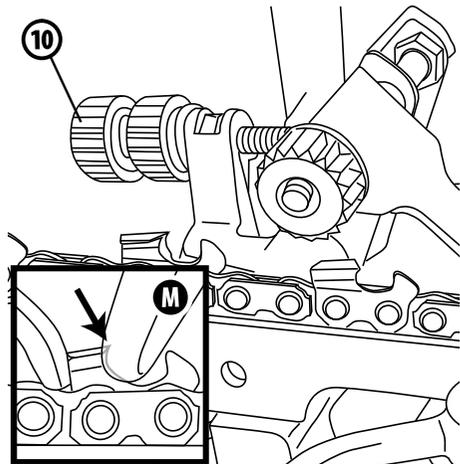
カッター調整ノブ(10)を回して、カッターの刃先が砥石と合うようにチェーンを動かします。チェーンは、この手順の間ずっとパイスジョー(16)上で自由に動けるが、隙間がない状態でなければなりません。



操作ハンドル(E)を使って、モーターユニット(A)を起こします。

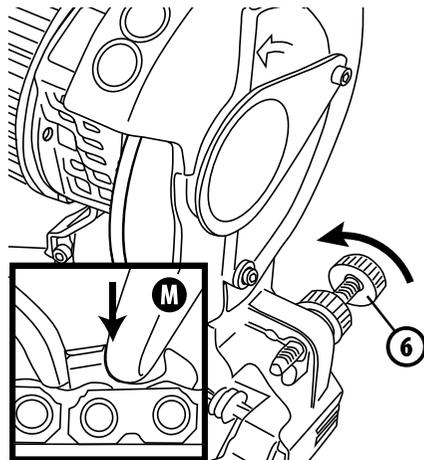


カッター調整ノブ(10)を時計回りに回して、研磨対象のカッターをさらに前方に少し動かします。

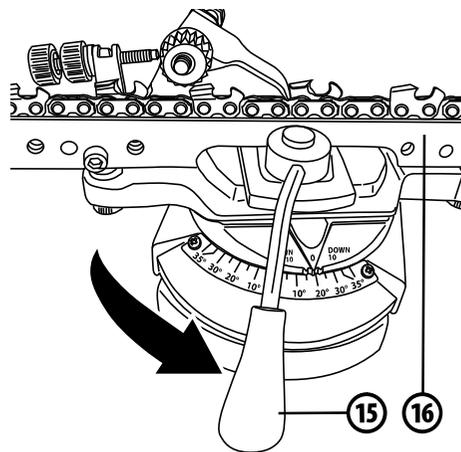


この前進は、カッターの切削量に匹敵します。大幅な研磨が必要な場合、またはカッターが損傷している場合、この前進量を大きくする必要があります。

1回で大幅に研磨しないことが重要です。この場合、カッターの焼き付きや硬度の低下が起こり、過剰なバリが発生する可能性があります。高さ調整ノブ(6)を回して、カッターの高さを調整します。砥石(M)は、カッターの底に適切に触れるように位置させる必要があります。



カッターが適切な位置にセットされたら、パイスハンドル(15)を右に引いて、パイスジョー(16)を締めてください。これで準備が終了し、チェーンの目立てを開始することができます。

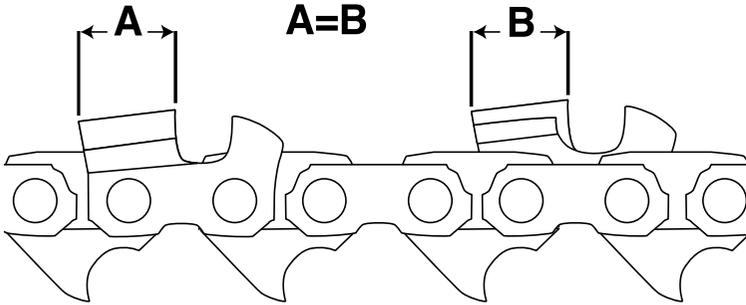


操作に関する注意事項

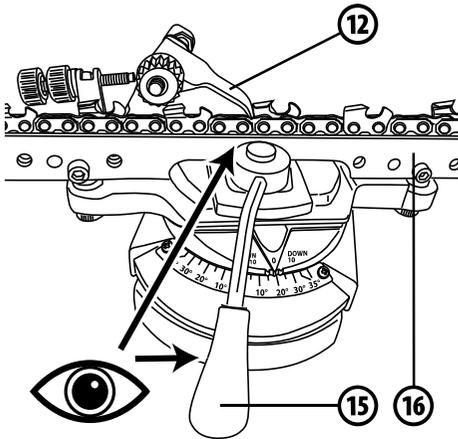


チェーンの目立て

- 作業の前に保護具を身につけてください。
- 同じ側のすべてのカッターの目立てを行い、前項で説明されているようにバイスを調整します。それから、反対側のカッターの目立てを行ってください。
- 研磨が完了したら、すべてのカッターのトッププレートが同じ長さであることを確認してください。

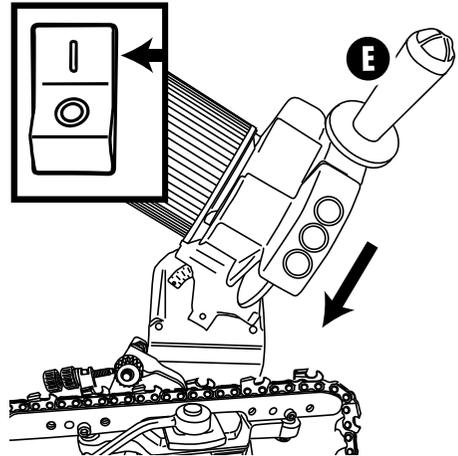


バイスハンドル(15)が、右側に引かれたこと、および、バイスジョー(16)が固く締まっていること、そして、チェーンストッパ(12)により適切にカッターの動きがブロックされていることを確認します。

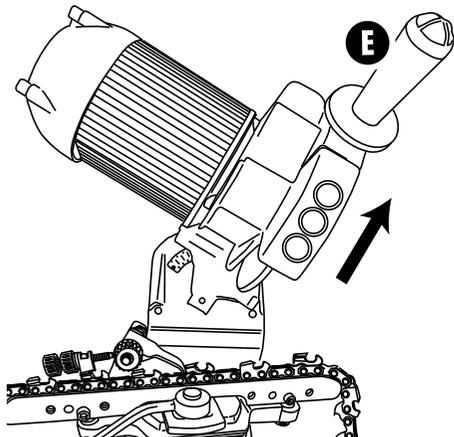


スイッチを「I」の位置にしてグラインダーを始動します。

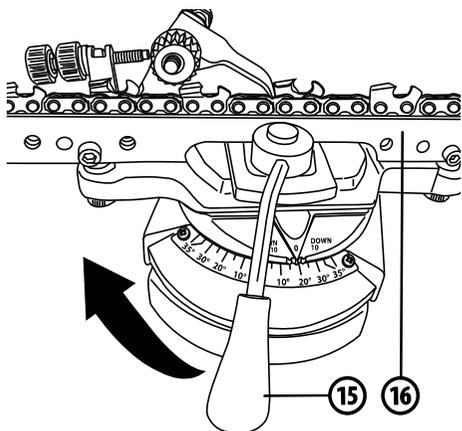
操作ハンドル(E)で砥石を押し下げ、カッターを研磨します。



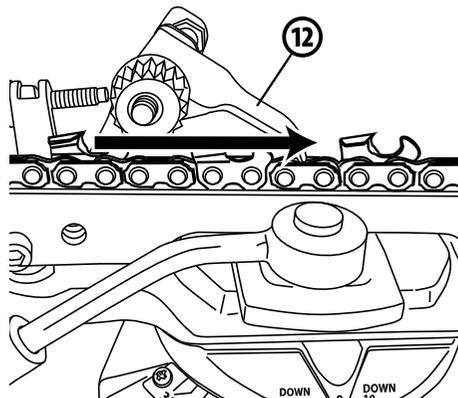
最初のカッターを研磨したら、操作ハンドル (E) でモーターユニットを引き上げます。



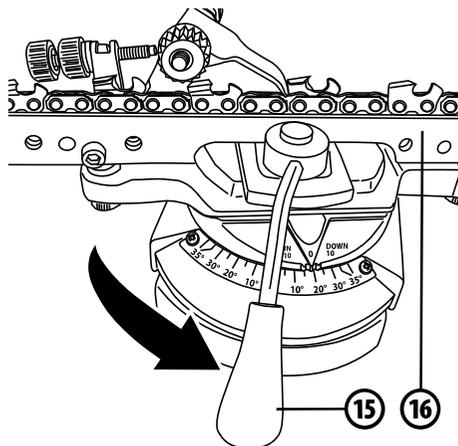
バイスハンドル (15) を緩めてください。



チェーンを前進させ、次の研磨対象のカッターをセットします。チェーンストップパ (12) が、カッターの後部にしっかりと固定されていることを確認してください。



バイスハンドル (15) でチェーンを再度固定し、次のカッターを研磨します。

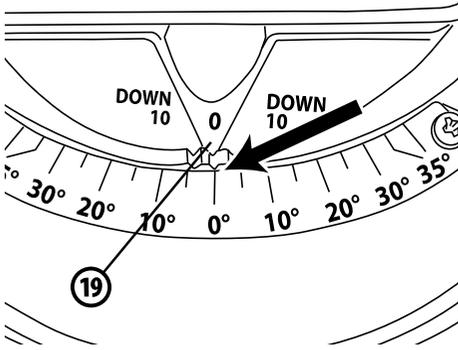




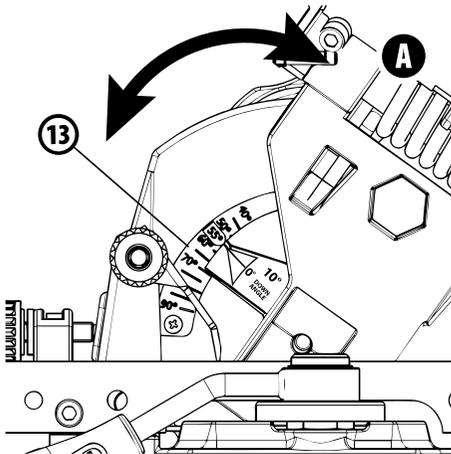
デプスゲージのセットのための砥石の整形

15～18 ページの指示に従って、8mm の厚さの砥石を取付けます。この時、砥石の形状を点検したり、18 ページに示すように砥石を整形する必要はありません。

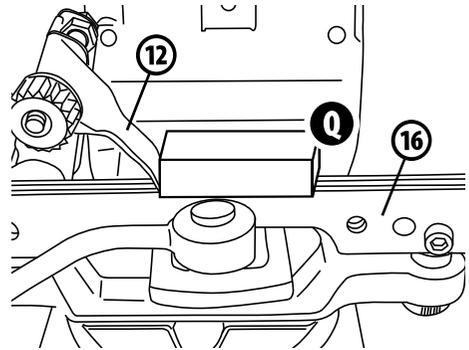
「0」の基準マークの位置が、0°の位置に合うようにバイスを回転させます。



モーターユニット (A) を回転させ、「0」基準マークの位置が、ヘッド傾斜角度ガイドプレート (13) の60°の位置に重なるようにします。

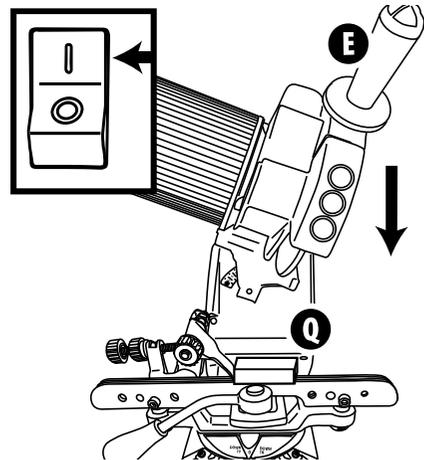


整形ブロック (Q) をバイスジョー (16) の上に置いて、チェーンストップに押し付けるように位置させます。片手で整形ブロック (Q) をしっかりつかみます。その時、指や手が砥石に触れないように注意します。



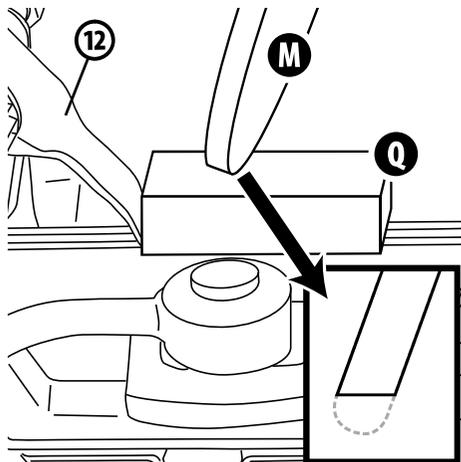
スイッチを「I」の位置にして、グラインダーを始動させます。

操作ハンドル (E) でモーターユニット (A) を押し下げます。



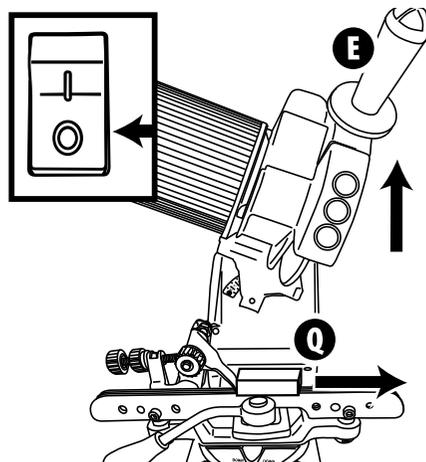
下図の形状になるまで、砥石を整形ブロックに当てて研磨します。

⚠ 警告 高速で回転している砥石に接触するとやけどやけがをする可能性があります。



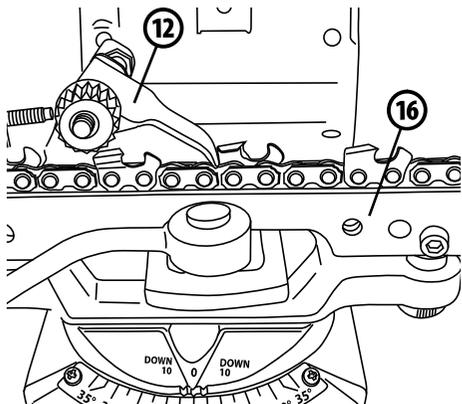
操作ハンドル(E)を使って、モーターユニット(A)を持ち上げます。

スイッチを「0」位置に動かしてグラインダーを止め、バイスから整形ブロック(Q)を取り外します。



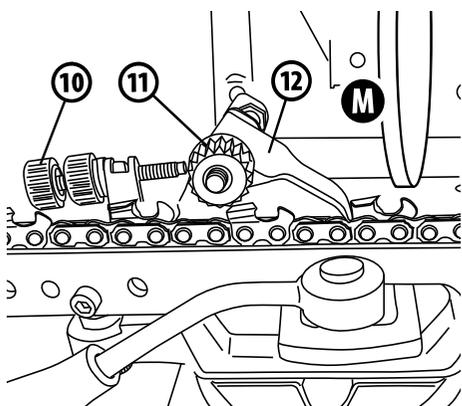
デプスゲージの設定

カッターをチェーンストップ(12)に対して持ち上げるようにして、チェーンをバイスジョー(16)にセットします。

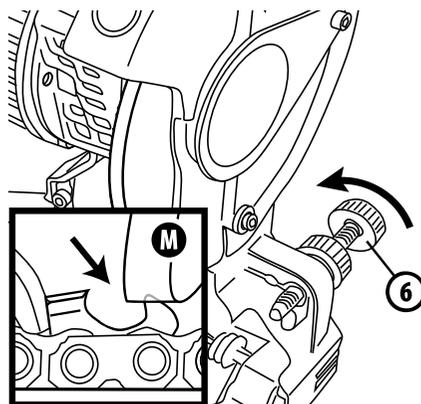


モーターユニット(A)を引き下げ、カッター調整ノブ(10)を回して、カッターデプスゲージが砥石(M)の下になるようにチェーンを動かします。

調整ノブ(11)を回して、チェーンストップ(12)の位置を調整します。

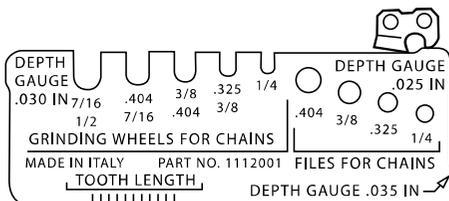


モーターユニット(A)を引き下げながら、高さ調整ノブ(6)を回して、ゲージの研磨深さを調整します。



28 から29 ページの「操作に関する注意事項」の「チェーンの目立て」の項の指示に従ってデプスゲージをセットしてください。この種の研磨手順に関して、左と右のカッターの手順はまったく同じですので、すべてのゲージをひとつひとつ連続して研磨してください。

ゲージの深さが適切かどうか、使用されるチェーンの種類に関連する形状が示されているテンプレートを使って点検します。また、12 ページのD 欄のチェーン表を参照してください。



停止とシャットダウン

停止

スイッチを「0」にしてグラインダーを停止し、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。

シャットダウン

作業が終了したら、機械の接続を解除し、きれいに清掃してください。機械を乾燥して安全な塵埃対策と湿気対策がなされた場所に保管してください。

メンテナンスと清掃



▲ 警告 保守作業の前に、グラインダーは必ず電源をオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

電源ケーブルに損傷がないか、定期的に点検してください。ケーブルに傷があったり、切れている場合は、即座に電源プラグをコンセントから抜いてください。

砥石の直径が下限の値である約105mm になったら交換してください。

40 時間稼働後

- ランプを布かブラシできれいに清掃してください。コンプレッサーは使用しないでください。

- グラインダーを布かブラシできれいに清掃してください。気をつけてモーターとスライディングガイドの清掃を行ってください。コンプレッサーは使用しないでください。

破壊と処分



本機は、設置した国の適用法に従って有資格者が処理します。このシンボルによって、製品が、通常の家計ゴミと一緒に廃棄することができないことが示されています。廃棄に関しては、販売店にご相談ください。

機械を処分する前に、例えば電源ケーブルを切断して、機械を使用不能にしてください。また、部品も安全であることを確認します。子供がおもちゃにするとケガなどの危険をもたらす可能性があります。

保証と修理

保証有効期間は、機械が販売された国で認められたものです。保証は、購入の証明として販売書類(伝票や領収書)のコピーがなければ受け入れることはできません。以下の場合には、保証は無効となります。

- 機械に不正な改造がなされている場合
- 機械がこの取扱説明書に従って使用されていない場合
- 非純正の部品、機械、砥石が、製造者が認知していないグラインダーやその他の部品に取付けられている場合
- 機械が指定されている電圧や周波数以外のもので使用されている場合

OREGON® のお客様の満足が第一のポリシー

限定的保証

OREGON® ブランドのOregon Tool, Inc. 社は、製品が新品で購入されて、所持されている限り、自社の製品が、原料と製造過程で瑕疵のないことを保証します。

当社の製品が気に入りましたら、お知り合いにそのことをお伝えください。当社の製品に不満があるなら、それがどのような理由であれ、当社にお知らせください。OREGON® ブランドは、お客様に十分に満足していただく製品を提供したいと思っています。

この保証に基づく当社の責務は、部品交換に限定されます。OREGON® 販売店かしてください。製品を通常の方法で使用した場合の摩耗と損傷、ユーザーによる酷使、不適切な保守や修理によるものは保証対象にはなりません。

不良製品の交換は、この保証とその他の適応可能な保証に基づいた例外的な対処方法です。交換は、不良製品を受け取った後、合理的に可能な限り早期に行われます。法律によって許可される範囲で、売買目的物の商品性やこの製品に適用可能な特定の目的への適合性の保証は、この明記された保証の存続期間と範囲に制限されます。OREGON® は、二次的な、あるいは偶発的な損傷に関しては責務を負いません。国によっては、制限を設けること、期間を設定すること、また、二次的な損傷に対して除外することは禁止していますので、上記の制限や除外はお客様に当てはまらないかもしれません。この保証は、新品を購入されたお客様に特定の法的権利を付与しています。また、国によっては、別の権利も所持している可能性もあります。



SHINGU
SHOKO

株式会社新宮商行
〒270-2231
千葉県松戸市稔台6丁目7-5
TEL:047-361-4701
FAX:047-362-0157

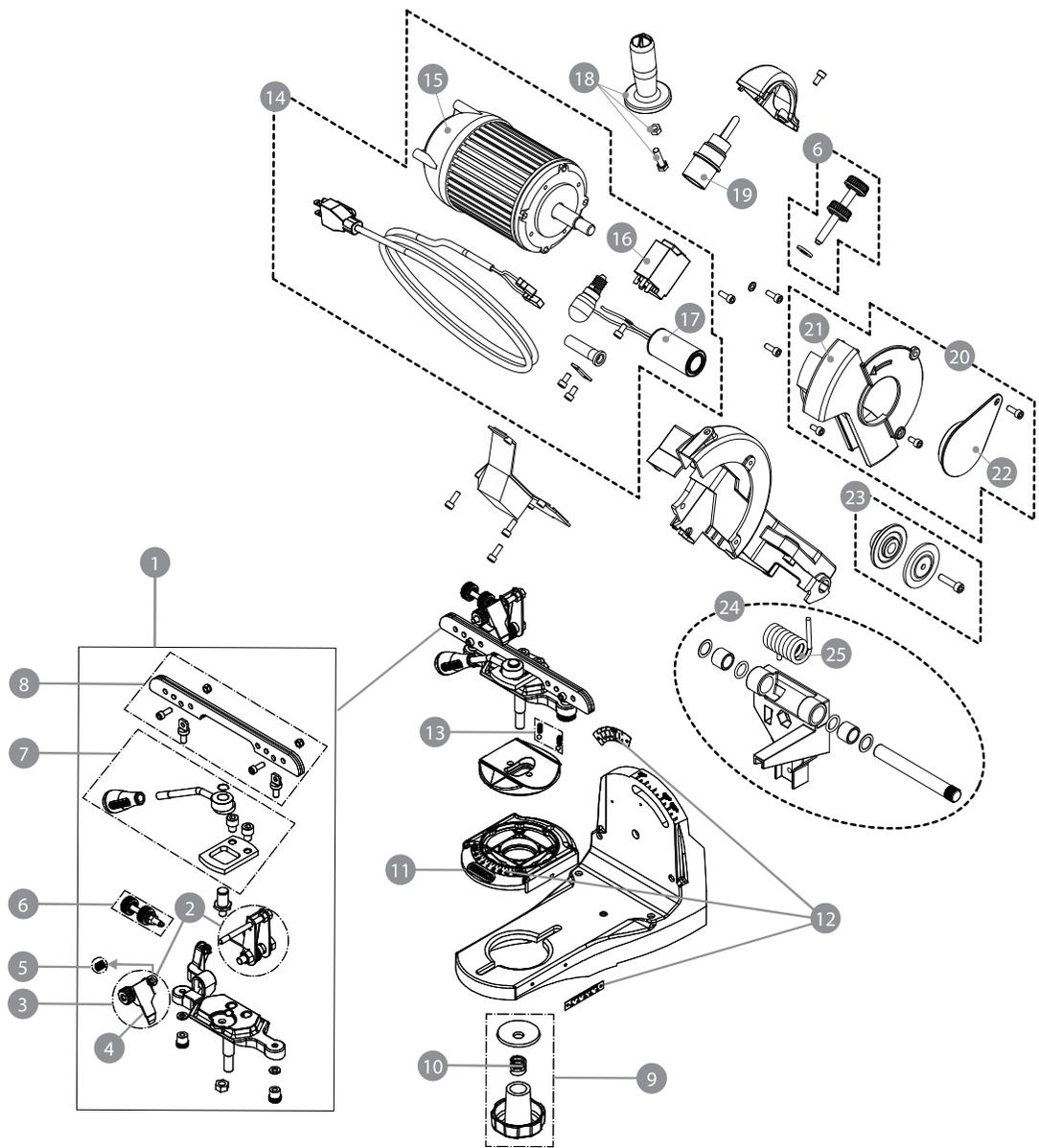
トラブルシューティング

作業を行う前にスイッチを「0」の位置にして電源をオフにして、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

トラブルの内容	考えられる原因	対処方法
電源スイッチを入れても作動しない。(スイッチ位置「I」)	本機が接続されているシステムの安全装置(ヒューズ、回路ブレーカ)のひとつが切れている。	安全装置をリセットします。安全スイッチが再び切れるようであれば、機械を使用しないで、販売店に相談してください。
	本機が正しく電源に接続されていない。	電源プラグを抜いて、再度差し込んで接続してください。
ランプのスイッチ位置が「I」になっても、スイッチオンにならない。	ランプが、きっちりと適切に組み込まれていない。	ランプを適切に所定の位置にネジで固定してください。
	ランプが壊れている。	ランプを交換してください。
砥石にヒビがはいっている、あるいは損傷を受けている。		砥石を交換してください。
本機が激しく振動する。即座に使用を中止してください	グラインダーが適切に固定されていない。	固定状態を点検し、必要であれば固定ネジを適切に締め直してください。
	モーターユニットが、ベースユニットにきっちりと装着されていない。	関連するロッキングハンドルを適切に締め直してください。
	バースアセンブリが、ベースユニットにきっちりと装着されていない。	関連するバース調整ノブを適切に締め直してください。
	砥石が、押さえハブの所定の位置にきっちりハマっていない。	砥石を一度外し、傷などがないか点検してから、再度適切に装着してください。

チャートの指示に従っても、適切な機械の作動が回復できない場合、販売店に相談してください。

パーツリスト 520-100J (NEW:シリアルNo.12 桁)



番号	OREGON	内容
1	572119	バイスアセンブリ
2	537411	チェーンストッパ・アセンブリ
3	522688	チェーンストッパ
4	32677	チェーンストッパ (5個入り)
5	32681	チェーンストッパセンタリングバネ (5個入り)
6	537412	調整ノブキット
7	572202	バイスハンドル・アセンブリ
8	572203	バイスジョー
9	537413	バイス調整ノブキット
10	35590	ジョースプリング
11	522685	スライディングサポート
12	537410	スケールキット
13	32678	スプリングボール
14	537398	電装品アセンブリキット
15	37947	モーターキャップ
16	109879	ON/OFFスイッチ
17	37948	コンデンサ
18	105538	ヘッドアセンブリ・ハンドルキット
19	108196A	115Vライトソケット
20	554651	砥石保護シールドキット
21	109248	砥石ハウジング金属シールド
22	105654	砥石保護シールド
23	537409	フランジキット
24	546951	アームサポート・アセンブリ
25	546946	戻りバネ

株式会社新宮商行
〒270-2231
千葉県松戸市稔台6-7-5

Oregon Tool, Inc.
4909 SE International Way
Portland, OR 97222 USA